令和6年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:令和6年4月1日~令和7年3月31日

| 施設名 | 大和市郷土民家園 | |
|-------|---------------------|--|
| 指定管理者 | 公益財団法人スポーツ・よか・みどり財団 | |
| 指定期間 | 令和3年4月1日~令和8年3月31日 | |

1. 事業報告概要

①管理体制と施設の利用状況

【管理体制及び開園状況】

| 管理運営体制 | 原則 2 名(うち、学芸員有資格者 名) |
|--------|--------------------------------------|
| 開園状況 | 毎週月曜日(休日の場合翌日)及び年末年始(12/29~1/3)を除く毎日 |
| 開園時間 | 午前 9 時~午後 4 時(7/21~8/31 は午後 5 時まで) |

◎職員に対する研修の実施

接遇研修や、コンプライアンス研修など、職員に対し管理運営に必要な研修を実施しました。

【施設の利用状況】

| 年間利用者数 | 30,903 人 (カウンター集計による) |
|--------|--------------------------------|
| 中间利用有奴 | 前年度比 1,722 人增 |
| 四人初田巫丛 | 小中学校・・・・・市内 9 校、市外 17 校、計 26 校 |
| 団体利用受付 | その他団体・・・市内 0 団体、市外 4 団体、計 4 団体 |

◎来園者数の推移

前年度実績に比して増加となりました。6年度は、市内の小学校の団体見学回数が多かったことが 要因と思われます。

◎施設の利用許可状況

利用の拒否については該当ありませんでした。

◎来園者に対する歴史説明

来園者の要望に応じて、大和の歴史(古民家・農耕・養蚕)等の説明を実施しました。また、小学校やその他団体に対しても、同様に説明を実施しました。

◎施設の広報活動

ホームページをはじめ、X(旧Twitter)、ポスターや情報誌等で、施設や事業の周知を行いました。

◎施設の平等利用

外国語版ワークシートを作成するなど、施設の平等利用を図りました。

②事業運営の実施状況

■年中行事展示

| | 事業名 | 展示期間 | 来園者数 |
|----|---------------|------------------|----------------|
| 1 | 端午の節供展示 | 4/13~5/12(26 日) | 5,019人(193人) |
| 2 | 七夕飾り展示 | 6/22~7/7(14日) | 950 人(67.9 人) |
| 3 | カイコの飼育展示 | 7/13~8/12(27 日) | 1,870人(69.3人) |
| 4 | お盆の砂盛り展示 | 8/7~8/15(8 日) | 430人(53.8人) |
| 5 | 十五夜団子飾り展示 | 9/14~9/23(9 日) | 537人(59.7人) |
| 6 | 十三夜団子飾り展示 | 10/12~10/20(8 日) | 877人(109.6人) |
| 7 | ヨーカゾーの目籠飾り展示① | | 1,705人(121.8人) |
| 8 | 正月飾り展示・春の七草展示 | 12/21~1/7(10日) | 546人(54.6人) |
| 9 | 繭玉団子飾り展示 | 1/8~1/15(7日) | 1,035人(147.9人) |
| 10 | ヨーカゾーの目籠飾り展示② | 1/25~2/8(13 日) | 1,262人(97.1人) |
| 11 | お雛様飾り展示 | 2/1~3/9(32 日) | 5,184人(162人) |

[※]開催期間のカッコ内は開催日数、来園者数のカッコ内は一開園日あたりの平均人数

■市内3館合同企画展示

| Į | | 企画展名 | 開催期間 | 来園者数 |
|---|---|-----------------------|-----------|-----------|
| | 1 | 古中 2 始入日入五日 十尺字で地ケの笠供 | 4/17~5/12 | 4,458 人 |
| | ı | 市内 3 館合同企画展 古民家で端午の節供 | (23 日) | (193.8 人) |
| | 2 | 十九つ始人日人五日 十日中ブルン祭川 | 2/14~3/9 | 3,989 人 |
| | 2 | 市内 3 館合同企画展 古民家でひな祭り | (21日) | (190人) |

[※]開催期間のカッコ内は開催日数、来園者数のカッコ内は一開園日あたりの平均人数

■自主事業 (★は新規事業)

| | 事業名 | 開催日 | 参加者(観覧含む)・来園者数 |
|---|------------------------------|----------------|---|
| 1 | 民家園まつり | 5/5 | 観覧 48 人/来園 920 人 |
| 2 | 小麦脱穀実演 | 6/16 | 観覧 23 人/来園 142 人 |
| 3 | 機織り機を作ろう | 6/23 | 参加7人/定員10人 |
| 4 | 七夕の調べ | ① 7/6 ② 7/7 | ① 観覧 14 人/来園 70 人 ② 観覧 23 人/来園 100 人 |
| 5 | カイコを知ろう | 7/15 | 12組(20人)/定員 5組 |
| 6 | ★まゆから糸づくり ※大和国際フレンドクラブと共催 | 8/24 | 9 組(28 人) |

| 7 | 人形浄瑠璃の上演 | 11/3 | 観覧 55 人/来園 204 人 観覧 86 人/定員なし 10 人/定員 10 人 | |
|----|---------------------|--|---|--|
| 8 | 籾摺り・精米実演 | 11/17 | | |
| 9 | まゆ工作 | 11/24 | | |
| 10 | 樹芸の実演 | 1/19 | 観覧 16 人/来園 88 人 | |
| 11 | 味噌作り | 2/16 | 10組(18人) /定員10組 | |
| 12 | 民家園の春まつり | 3/2 | 観覧 90 人/来園 648 人 | |
| 13 | 等のしらべとともにお話の 世界へ | (秋公演)10/20 (冬公演)12/1 (春公演) 3/9 | (秋公演)観覧 25 人/来園 138 人 (冬公演) 観覧 22 人/来園 189 人 (春公演)観覧 37 人/来園 381 人 | |
| 14 | 機織り実演 | ① 4/5 ② 5/5 ③ 5/17 ④ 7/19 ⑤ 8/24 ⑥ 9/20 ⑦ 10/18 ⑧ 11/1 ⑨ 11/29 ⑩ 2/21 ⑪ 3/21 | ① 来園 57 人 ② 来園 920 人 ③ 来園 166 人 ④ 来園 50 人 ⑤ 来園 100 人 ⑥ 来園 24 人 ⑦ 来園 19 人 ⑧ 来園 130 人 ⑨ 来園 113 人 ⑩ 来園 177 人 ⑪ 来園 99 人 | |

◎市民団体との連携

年中行事や自主事業事業の実施にあたり、ボランティアや地域団体との連携を図りました。

◎ホームページや X(旧 Twitter)を利用した事業報告など

ホームページで実施した事業の様子を紹介したり、X(旧 Twitter)でカイコの生育状況や園内の草花の様子などをリアルタイムでお知らせすることで、また来園したい・次も参加したいと思っていただけるような工夫をしました。

◎市内3館合同企画展

市内の歴史や民俗を知っていただくことを目的として、つる舞の里歴史資料館・下鶴間ふるさと館との3館合同による企画展を年2回開催しました。

◎アンケートの実施

講座などの自主事業において、可能な限り参加者からのアンケートを実施しました。精査した内容は、市への月次報告で詳細に報告しました。

◎郷土民家園開園 30 周年記念事業

市が企画したスタンプラリー (5つの期間で1つの来園ポイントを集める)を開催し、やまと歴史マップやオリジナルのヤマトングッズを景品として配布することで、積極的に民家園への来園を促すとともに、文化財に親しむ機会を創出しました。

③施設の維持管理状況

■園内清掃、環境整備等

| 園内清掃 | 毎日園内清掃 | |
|-------|---------------------------------|--|
| 施設内清掃 | 毎日旧北島家・旧小川家両施設を清掃。 | |
| | 茅葺屋根等防虫のため両施設を燻蒸(開園日に一日交代で実施)。 | |
| | 米ぬかを使用して古民家の床掃除を実施。 | |
| 巡回·警備 | 開園時間中、常時 名巡回警備。閉園時間中は機械警備を実施。 | |
| 消防訓練 | 文化財防火デー(1/26)にちなみ 1/24 に実施。 | |

◎植物や樹木による園内整備

除草、草刈、高木・低木剪定、生垣剪定、畑・水田管理等を実施しました。特に、アジサイ、ヤマユリ、 ヒマワリ、コスモス、ノギク、ナノハナ、シバザクラなど、季節の花やみどりによる園内の景観整備に努めました。

◎施設や備品の簡易修繕

毎日の清掃によって、修繕が必要な物品を確認した場合は、職員によって簡易修繕を実施しました。

例:ザシキ・カッテ間の板戸補修、障子の補修、足踏み脱穀機の補修など

◎オリジナル商品の民具作製

竹とんぼ・竹笛・ブンブンごま等を作製・販売しました。また、夏休みの子ども向け企画として、竹とんぼを配布しました(100組)。

◎第三者委託による施設点検等

必要な整備・点検を漏れなく実施しました。

- ・夜間及び休園日における機械警備の実施
- ・消防設備点検の実施

放水銃、自動火災報知機、消火器の機器点検1回ずつ、総合点検1回ずつ

- ・一般用電気工作物保守点検(精密点検1回、目視点検4回)の実施
- ・浄化槽維持管理(保守点検4回・完全清掃 | 回・害虫駆除2回及び法定点検 | 回)の実施
- ・空調設備保守点検(1回)の実施

2. 収支決算概要

(単位:円)

| 収入 | | 支 出 | |
|------------------|------------|------------------|------------|
| 指定管理料 | 9,999,000 | 人件費 | 7,456,622 |
| (市が指定管理者に支払った金額) | | (給料手当、臨時雇賃金、福利厚生 | |
| | | 費) | |
| その他収入 | 166,794 | 事業費 | 109,272 |
| (事業参加料・民家園販売売上等) | | (会議費、旅費交通費、消耗品費、 | |
| | | 保険料、諸謝金、負担金) | |
| | | 光熱水料費 | 348,998 |
| | | (電気料、水道料) | |
| | | 施設管理費 | 2,225,206 |
| | | (通信運搬費、消耗品費、修繕費、 | |
| | | 燃料費、賃借料、保険料、租税公 | |
| | | 課、負担金、委託費) | |
| 収入計(①) | 10,165,794 | 支出計(②) | 10,140,098 |

| 収支決算(①-②) 25,696 |
|------------------|
|------------------|

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。評価にあたっては、令和7年8月25日 に文化財保護審議会から意見聴取を行いました。

評価の視点 |: 施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか

評価「施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られている。

- ●施設の利用許可事務については、条例などに則り適切に行われていることが確認できました。
- ●団体の施設利用については、可能な限り要望を受け入れ、当日の誘導や説明対応にも積極的 に応じました。
- ●外国語版ワークシートを作成するなど、施設の平等利用を図っていることなどは評価できます。
- ●ホームページでは、開催後の事業の様子やその内容を公開し、またX(旧 Twitter)では園内の草花の開花状況やカイコの生育状況をリアルタイムで発信するなど、外部広報媒体を積極的に活用した広報活動を行い、来園者増加への対策をとっていることは評価できます。

評価の視点2: 施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか

評価 施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われている。

- ●市の仕様に基づき、年中行事の再現やその展示を実施しました。
- ●自主事業として、養蚕関係講座、味噌作り体験、春秋のまつりなどの人気定例事業のほか、古 民家の来歴・特色・雰囲気を活かした朗読・演奏公演、小麦脱穀実演などの事業も積極的に実 施していました。
- ●養蚕の「まゆから糸づくり」や機織り実演など、古民家の特性を生かした自主事業を市民団体 やボランティアと連携し企画実施することで、施設と地域をつなぎ、活用してもらう工夫をしてい る点が評価できます。
- ●泉の森内という立地や古民家の特徴を活かした郷土民家園オリジナル商品の作製・販売などを行いました。
- ●市と連携して、つる舞の里歴史資料館・下鶴間ふるさと館との合同企画展を実施し、市内の文化財普及啓発活動にも取り組んでいます。今後は、これまでの実績を精査し、テーマや実施時期を見直すまたは回数を増やすなど、次のステップにつながるよう検討されることを期待します。
- ●事業のアンケート結果を毎回詳細に分析し、事業内容の見直しや広報の方法などに生かしている点が評価できます。
- ●市と協力し、郷土民家園開園 30 周年記念事業を開催しました。
- ●前年度郷土民家園の来園者数が減少したため、大和市文化財保護審議会からの指摘・助言を 受けて、市と現状を共有し、施設の活用方法を模索しましたが、今後、泉の森全体での連携事 業や、民家園への誘導展示を行うなど、新しいアイデアを取り入れながら、効果的な運営を継続 することを期待します。

評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が図られたか

評価 施設の適切な維持及び管理が図られている。

- ●各種点検、報告等は仕様書・協定書等に沿って漏れなく実施されています。
- ■園内の巡視や適正な点検を実施したことにより、重大な事件・事故なく事業運営ができました。
- ●毎日の施設清掃や見廻りをしっかりと行っているため、建物や備品・物品の異常をすぐに発見することができ、軽易なものについては補修を行い、修繕が必要である場合はすみやかに市へ報告するなど、適切に行われました。
- ●燻蒸のための囲炉裏への火入れや、米ぬかを使用した床清掃など、維持管理を上手に動態展示として来園者に発信しました。
- ●園内に四季を感じられるよう、季節ごとに草花の植え替えを行い、魅せる施設作りを積極的に行いました。

評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか

評価 施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有している。

- ●施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況を保っています。
- ●事業計画書のとおり適正に人員が配置されており、関係法令に基づく管理体制を遵守し、施設 の管理を安定して行う人員・能力等を有しているといえます。
- ●学芸員の有資格者を計画的に配置し、自主事業及び年中行事展示等を適切に行う体制を整 えています。
- ●地域住民の方にボランティアとして協力いただくなど、地域団体との連携事業にも積極的に取り組んでおり、地域に根付いた事業を展開しています。
- ●より魅力的な事業運営につながるよう、近隣の類似施設と連携し活発な交流を行うことを期待します。
- ●限られた予算と人員の中で、既存の事業だけでなく、新規事業を立案・計画するなど、よく頑張っています。開園30周年を迎え、今後は更なる改革・発展を目指し、若い世代の力を積極的に取り入れて、未来へ繋げていけるような事業の発展を期待します。